AUDITOR

5604-0091

# ダスト コンテインド シャフトカッター(自動集塵)

# 取扱説明書

**※ご使用前に必ず、本取扱説明書を読み、内容を十分に把握した上で作業を行って下さい。**

Geotech
株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント　千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188　FAX.0120-655-188　http://www.geotechgolf.com/

**機能紹介（各部の名称は3ページの図3をご参照下さい）**

ダスト・コンテインド・シャフトカッターは、シャフトを4本まで一斉にカットでき、ストップ・ブロックを用いて、チップカット、バットカット共に、変化量を1/2、1/4インチで設定可能です。また、ストップ・ブロックとルーラーを併用することで0～6インチに切断長を精密に調整することができます。

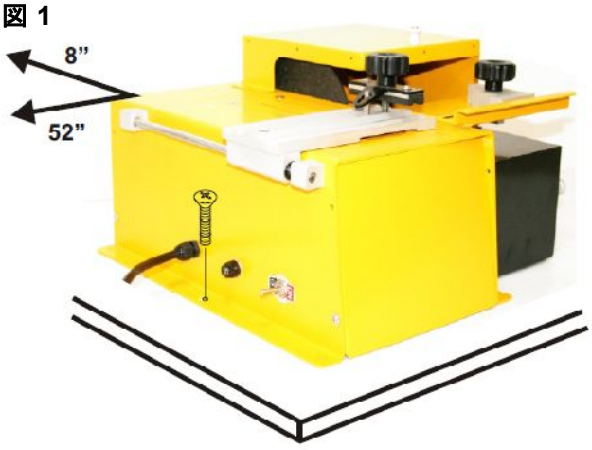
さらに重要な特徴が自動集塵システムの装備です。シャフトを切断する際に発生する粉塵をフィルターで集め、機器外には放散しません。別体の集塵機器を必要としないことで、スペースを必要とせず、設置場所も選びません。

**機器の設置**

Step-1: 設置の際には、本器にてシャフトを切断する際に十分な空間を確保して下さい。図1を参照し、本器に向かって左方にシャフトのため、52インチ、換気と使用上、後方に8インチは最低でも必要です。

**※切断中に本体が動くと非常に危険ですので、本器は必ず作業台等にボルトやタッピングビス等で固定して使用して下さい。（ボルト、タッピングビスは、同梱されておりません。お手数ですが、ご使用の作業台に合わせてご用意下さい）**

**図 1**




Step-2: スライド・クランプが正常に動作することを確認して下さい。本体横のガイド・ロッドに沿って、スムーズにスライドしなければなりません。

Step-3: 必ず、スライド・クランプでシャフトをクランプし、トリミング・ゲージを用いて、切断長を調整、切断します。クランプせずにシャフトを切断するとシャフトが揺動、回転し、カッターの正常な作動を妨げ、カッター破砕や、シャフト折損の原因になりますので、絶対にお止め下さい。

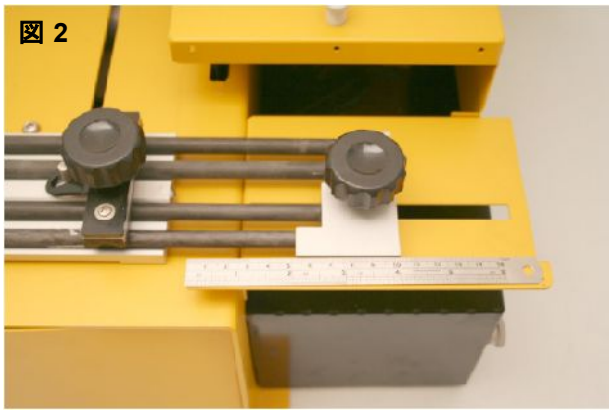
Step-4: 電源を入れる前に、カッター・ブレードを回転させ、スムーズに回転するか、ブレードの破損や偏磨耗が無いか、確認して下さい。

Step-5: 不意の動作を防ぐため、電源コンセントに電源プラグを繋ぐ前に、本体のスイッチがOFFの位置にあることを確認して下さい。

**シャフト切断方法**

個別にシャフトを切断する際は、装着するヘッドのホーゼル深さによって必要な切断長を設定し、ストップブロックを使用されることを推奨致します。ストップブロックのいずれかのステップを使用して、スライド・クランプの溝に固定し、電源をONにしてカッターが最高速に達するまで、数秒お待ち下さい。

**図 2**



**巻き込まれる危険がありますので、指や手、衣服等はカッター部分に絶対に近付けないで下さい！**

スライド・クランプをしっかりと保持し、ゆっくり前方に押し出し、カッター・ブレードに接触させて切断します。切断はトリム・ゲージの起点で行われます。切断したら、ゆっくりスライド・クランプを手前に戻し、電源をOFFにします。

シャフトをアイアン・セット用に切断する際は、まず最も長いシャフトにおけるチップ切断長を設定し、図2のように、ストップ・ブロックの最奥側に突き当て、スライド・クランプで固定します。さらに次の番手用シャフトのチップを順にブロックに突き当て、スライド・クランプに固定します。

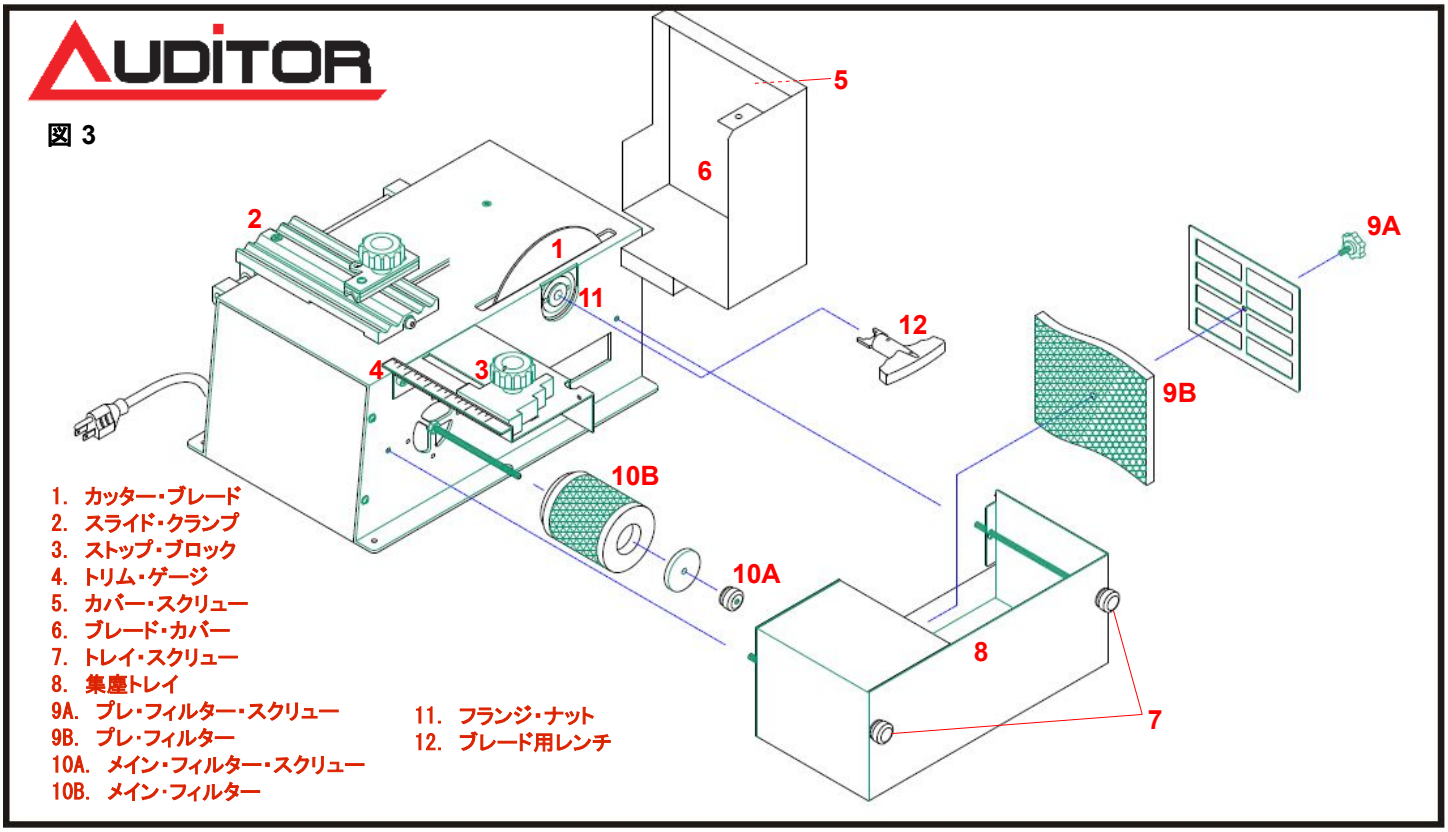
例えば、3番アイアンに1インチのチップ・トリムを施す場合、トリム・ゲージで最長切断長を1インチに調整し、4番アイアンでは1.5インチ、5番アイアンでは2インチ、6番アイアンで2.5インチ、と言う変化量でカットしていきます。4本をカットした後は、シャフトを取り外し、ストップ・ブロックの位置を調整し、最長切断長を3インチに設定することで、7番アイアンからPWまで、4本を0.5インチの変化量で切断することができます。

※ウェッジ用シャフトのチップ切断長は、9番アイアンよりも0.5インチ多く切断するのではなく、その差を0.25インチとする等、調整が加えることが一般的です。

チップ切断後、要求クラブ長で組み立てるため、最長番手のクラブを使用するヘッドに仮挿しし、ルーラー等を用いてクラブ長を測定して、バット側の切断すべきポイントに油性ペン等でマークをつけます。これをスライド・クランプにセットし、マークの位置で切断できるようにストップ・ブロックの位置を調整します。

一般に3番アイアン用に41インチのシャフトを標準的な39インチのクラブ長にするためには、およそ2インチ切断しますが、これは使用するヘッドのホーゼル深さと、ソールさせる面までの実際のホーゼル長によって異なります。基本的に、ヘッドのホーゼル深さと実際のホーゼル長は番手毎に異なる場合が多いため、各番手用シャフトのバット切断長を同一に設定するのではなく、それぞれの番手を仮組みし、マーキングされることを推奨致します。

図 3




## 各種メンテナンスと交換方法

**集塵トレイとフィルターの洗浄**

1- 電源プラグが抜かれていることを確認して下さい。
2- カバー・スクリューを緩めて、ブレード・カバーを開きます。
3- トレイ・スクリューを外し、集塵トレイを本体から取り外し、内部に溜まったシャフト片や粉塵を取り除きます。(廃棄物は、各自治体等の定める廃棄方法で処分して下さい)
4- 集塵トレイのスロットに装着されたプレ・フィルターを取り外し、粉塵を流水で落とします。水を吸わせるように振って下さい。
5- 集塵トレイ内部は湿らせた布で拭くか、水洗いして下さい。水洗いした場合は、錆つき防止のため、十分に乾かしてから、組み立てて下さい。
6- 洗浄後、プレ・フィルターをスロットにセットし、集塵トレイをしっかりとトレイ・スクリューで固定して下さい。

**メイン・フィルターの交換**

メイン・フィルターは、100ミクロン以下の非常に細かい塵もとらえるために、オイルで湿らせてあります。これはエア・コンプレッサー等に使用されている方式です。フィルターが詰まったら、新しいものに交換する必要があります。エア・コンプレッサーを用いて、塵を吹き飛ばす等は、さらにフィルターを詰まらせてしまうだけでなく、エア・フローも妨げてしまうため、お止め下さい。

メイン・フィルター交換は、メイン・フィルター・スクリューを外し、フィルターを引き抜き、交換するだけです。

経済的にも、環境のためにも、メイン・フィルターは、複数回洗浄してお使い頂ける、再利用可能なフィルターをご使用下さい。

**カッター・ブレードの交換**

1- 電源プラグが抜かれていることを確認して下さい。
2- カバー・スクリューを緩め、ブレード・カバーを開き、トレイ・スクリューを外して、集塵トレイを本体から取り外します。
3- カッター・ブレードを指で押さえ、フランジ・ナットを専用レンチを用いて取り外し、ブレードを抜き取ります。
4- 軸受けとその周辺に付着した粉塵を取り除き、新しいブレードを装着します。この時、軸受けに適切に固定されていることを十分に確認して下さい。
5- ブレードを指で押さえ、フランジ・ナットを専用レンチで締付けます。あまり強く締め過ぎないよう、ご注意下さい。
6- ブレードが適切に装着され、スムーズに回るかを、軽く指で回して確認して下さい。
7- 集塵トレイを取り付け、ブレード・カバーを元の位置に戻し、電源プラグを繋いで、電源をONにし、ブレードがスムーズに回ることを確認し、交換作業は終了です。

**駆動ベルトの交換**

1- 電源プラグが抜かれていることを確認して下さい。
2- 作業台と本体の固定ボルト等を取り外します。
3- 図4中の4本のモーター固定螺子を軽く緩めると、モーター取付け金具が前後にスライドするようになります。
4- 図5のように本体を裏返し、駆動ベルトが見える状態にします。
5- モーターを図5の矢印の方向に動かし、駆動ベルトをたるませて取り外し、新しい駆動ベルトをプーリーとモーターにかけ、ベルトがたるまないようにモーターを矢印と逆方向にスライドさせます。
6- モーターがベルトに対して直角の位置にあることを確認し、4本のモーター固定螺子を締付けます。不適切な位置でモーターが固定された場合、ベルトが偏磨耗し、耐久性が著しく低下しますので、ご注意下さい。モーターの空気取り入れ口とメイン・フィルターの空気口が揃っていることも併せてご確認下さい。

**※駆動ベルトには、テンションをかけ過ぎないで下さい。モーターやプーリーの損傷に繋がります。また、スクリュー・ドライバー等を梃子に利用して、駆動ベルトをプーリーに取り付けたり、取り外すことは、絶対にお止め下さい。**

**図 4**

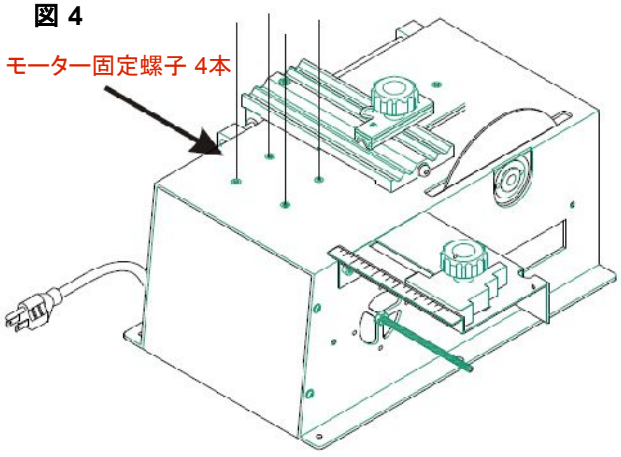
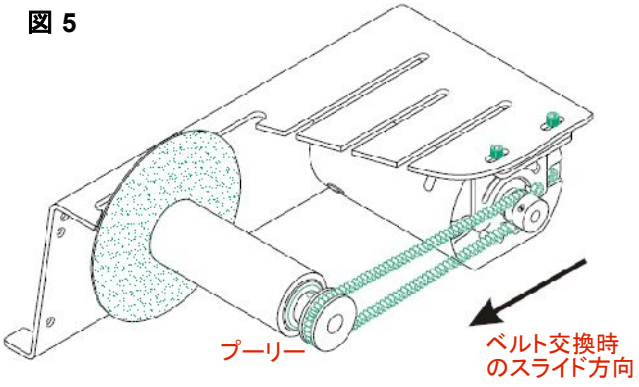



**図 5**




**安全のために**

1- ご使用前に必ず、本取扱説明書を読み、内容を十分に把握した上で作業を行って下さい。

2- 本体の固定前に作業のシミュレーションを行う等、不具合が生じないようにご注意下さい。

3- 設置やお手入れの際は、必ず電源プラグを抜いた状態で行って下さい。

4- シャフトの切断を行う前に毎回、カッター・ブレードにひび割れや欠けが無いか、確認されることを強く推奨致します。もし、そのような兆候が見られた場合は、ブレードを交換して下さい。

5- 必ず、スライド・クランプでシャフトを固定した上で切断して下さい。

6- ブレード・カバーを開いた状態でシャフトを切断しないで下さい。作業時は保護ゴーグル等を使用し、破片や粉塵の飛散に備えて下さい。

7- 衣服や貴金属等がカッター・ブレードに巻き込まれないよう、作業時には、そうした物品の装着はお控え下さい。

8- 集塵トレイ内部に水を入れて使用しないで下さい。モーターのショートの原因となります。

9- 作業終了後は、必ず電源プラグを抜いて下さい。

10- 15分以上、連続使用しないで下さい。

11- メイン・フィルターの汚れはこまめに落とし、集塵トレイ内にシャフト片を溜め過ぎないようにご注意下さい。

12- 集塵性能が低下しますので、カバー周縁のラバーは取り除かないで下さい。

**免責・注意事項:**

**本機器は、スチール・シャフト、グラファイト・シャフトの切断専用に設計されています。それ以外の物品の切断には使用しないで下さい。**

**また、誤った使用方法や、目的外の使用における事故等では、一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。**

**本器に何らかの改造を施された場合につきましても、保障対象外となりますことを、ご了承下さい。**

**交換部品について**

**〇カッター・ブレード (5604-0093:レヂトン 切断砥石 金の卵)**

(仕様) ブレード外径: 150mm
取付部内径: 22mm
厚み: 1.4mm

**〇エアー・フィルター(5604-0092:交換用エアー・フィルター・セット)**